

授業科目名	統計学	学 年	2 年	単位数	4	開設期	前期
担当教員	河田 正樹	指 定	選択	備 考			

### 授業のねらい・概要

経済諸現象を数量的に把握するためには統計学の知識が必要となります。統計学は記述統計と推測統計とに大別できますが、この講義では推測統計を中心に学びます。推測統計とは、集団の一部を調査したデータから、もとの集団について推測する方法であり、失業率を調べたり、内閣の支持率や視聴率などを調べる際に幅広く用いられている手法です。

### 学習の到達目標

推測統計の理論を学ぶことによって、経済データをはじめとする数多くの統計データや、予測された経済政策の効果などが、どの程度信頼できるものであるかを知ることができます。

### 授業全体のすすめ方・指示事項

PowerPoint のスライドを用いた講義をおこない、講義の最後に練習問題をおこないます。  
スライドはハンドアウトを配布するとともに講義用 HP に掲載するので、必要に応じて参照してください。  
理論的な説明ばかりでなく、経済をはじめとする身近な実例を数多く取り上げていきます。必要な数学の知識は、四則演算(+・-・×・÷)、平方根( )、中学レベルの一次関数です。  
講義科目『統計学基礎』(山岸教授ご担当)に続く内容ですが、未履修者にも配慮した講義をおこなっていきます。

### 授業計画

第 1 回	ガイダンス	第 16 回	中間試験の解説
第 2 回	記述統計の復習(1)	第 17 回	統計的推定(4)
第 3 回	記述統計の復習(2)	第 18 回	統計的推定(5)
第 4 回	記述統計の復習(3)	第 19 回	統計的推定(6)
第 5 回	記述統計の復習(4)	第 20 回	統計的推定(7)
第 6 回	確率と確率分布(1)	第 21 回	統計的推定(8)
第 7 回	確率と確率分布(2)	第 22 回	統計的検定(1)
第 8 回	確率と確率分布(3)	第 23 回	統計的検定(2)
第 9 回	確率と確率分布(4)	第 24 回	統計的検定(3)
第 10 回	確率と確率分布(5)	第 25 回	統計的検定(4)
第 11 回	確率と確率分布(6)	第 26 回	統計的検定(5)
第 12 回	統計的推定(1)	第 27 回	回帰分析入門(1)
第 13 回	統計的推定(2)	第 28 回	回帰分析入門(2)
第 14 回	統計的推定(3)	第 29 回	回帰分析入門(3)
第 15 回	中間試験	第 30 回	まとめと復習

### 成績評価の方法

中間試験と期末試験の成績によって評価します。宿題の提出状況・内容に応じて若干加点します。

### 成績評価の基準

成績評価の項目	具体的な内容与方法	評価割合(%)
定期試験(期末試験)	試験期間に期末試験を実施します。	50
授業内のテスト	中間試験を実施します。	50
授業外レポート・宿題	宿題の提出状況・内容に応じて若干加点します。	加点
授業への参加態度	成績評価の対象にはしませんが、講義内容を理解するための努力が必要です。	
出 席		
合計		100

教科書	使用しません。講義スライドのハンドアウトを配布します。
参考書・指定図書等	西尾 敦『グラフィック統計学』新世社 2520 円 宮川 公男『基本統計学(第3版)』有斐閣 2835 円 佐竹 元一郎・野口 和也『統計理論入門』中央経済社 3059 円 森田 優三・久次 智雄『新統計概論』日本評論社 3570 円
メッセージ	より詳しい情報は講義用 HP( <a href="http://www2.tokuyama-u.ac.jp/kawada">http://www2.tokuyama-u.ac.jp/kawada</a> )に掲載しますので、そちらも参照してください。